


(様式 1)

県政調査計画書

平成 27 年 10 月 9 日

県議会議長 土井 りゅうすけ 殿

会派名 民主党・かながわクラブ
団長名 たきた 孝 徳 
(署名は認印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 近藤 大 輔 (団 員) はかりや 珠江 日 下 景 子 岸 部 都
2 調査目的	木質バイオマス発電、温泉熱発電、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入について、先進的な取組を行っている事例を調査し、本県における今後の施策の推進に資する。 また、再生可能エネルギーにより発電した電力を安定供給する体制の整備についても、先進事例を調査することにより、本県における再生可能エネルギー施策の推進に資する。
3 調査期間	平成 27 年 11 月 16 日～18 日
4 調査地	山形県、宮城県、福島県
5 調査項目	(1) やまがたグリーンリサイクル株式会社及びやまがたグリーンパワー株式会社 やまがたグリーンリサイクル株式会社は、丸太や破材などの生木を破碎処理しチップへ加工して、やまがたグリーンパワー株式会社へ燃料供給を行っており、やまがたグリーンパワー株式会社は、未利用の林業系バイオマス資源（間伐材、半端材、剪定木等）を利用した木質バイオマス発電を行っている。 やまがたグリーンリサイクル株式会社及びやまがたグリーン



	<p>パワー株式会社の林業系バイオマス資源を有効活用する取組を調査することにより、本県の再生可能エネルギー関連施策の参考とする。</p> <p>(2) エネカフェメタン 宮城県大崎市鳴子温泉にあるエネカフェメタンでは、食品廃棄物を発酵させることにより発生するメタンガスを利用してホットドリンクを提供するという取組を行っている。 同所の再生可能エネルギーを有効活用する取組を調査することにより、本県の再生可能エネルギー関連施策の参考とする。</p> <p>(3) 温泉水バイナリー発電施設 宮城県大崎市中山平温泉にある東北大学の温泉水バイナリー発電施設では、温泉水の余熱を利用したバイナリー発電システムの開発を行っている。 同所の再生可能エネルギーを有効活用する取組を調査することにより、本県の再生可能エネルギー関連施策の参考とする。</p> <p>(4) 山形県庁 山形県では、県と民間企業の出資により、「山形新電力」という電力会社を設立して、県内の再生可能エネルギー発電事業者から電力を調達して県内外の需要家へ安定して供給する体制を整備しようとしている。 このような取組について調査することにより、本県の再生可能エネルギー関連施策の参考とする。</p> <p>(5) 雄国太陽光発電所 会津電力株式会社は、地域の資本と地域の資源を活用し、安全で持続可能な再生可能エネルギーによる発電を行っている。 会津地域内で資金を循環させ、地域の自立を実現する取組を調査することにより、本県の再生可能エネルギー関連施策の参考とする。</p>																		
<p>6 経費の概算額</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">一人あたりの議員旅費</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">.....</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">80,300 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">内訳 交通費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">43,700 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">宿泊費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">33,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">日当</td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,600 円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">合計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">80,300 円</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(現地での貸切車両代を含む)</td> </tr> </table>	一人あたりの議員旅費	80,300 円	内訳 交通費		43,700 円	宿泊費		33,000 円	日当		3,600 円	合計		80,300 円	(現地での貸切車両代を含む)		
一人あたりの議員旅費	80,300 円																	
内訳 交通費		43,700 円																	
宿泊費		33,000 円																	
日当		3,600 円																	
合計		80,300 円																	
(現地での貸切車両代を含む)																			

*日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	11月16日 (月)	■山形県 村山市	午前 午後	公共交通機関等 公共交通機関等	移動(神奈川県内→山形県村山市) ■やまがたグリーンリサイクル株式会社 ■やまがたグリーンパワー株式会社 ・未利用の林業系バイオマス資源を活用した木質バイオマス発電について 移動(山形県村山市→宮城県大崎市) ＜宮城県大崎市内泊＞
2	11月17日 (火)	■宮城県 大崎市 ■山形県 山形市	午前 午後	公共交通機関等	■エネカフェメタン ・生ゴミを活用したメタン発酵システムの開発と循環型社会のモデル構築について ■温泉熱バイナリー発電 ・温泉熱を活用したバイナリー発電について 移動(宮城県大崎市→山形市) ■山形県庁 ・県内の再生可能エネルギー発電事業者から、幅広く電力を調達し、県内外の需要家への安定したエネルギーの供給を担う事業について ＜山形市内泊＞
3	11月18日 (水)	■福島県 喜多方市	午前 午後	公共交通機関等 車両 公共交通機関等	移動(山形市→福島県喜多方市) ■雄国太陽光発電所 ・地域の資本と地域の資源を活用し、安全で持続可能な再生可能エネルギーによる発電について 移動(喜多方市→神奈川県内)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 近藤大輔 (団員) はかりや珠江 日下景子 岸部都
---------	---

1 要領2(1)の基準への適否

区分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は80,300円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1日につき午前及び午後それぞれ1箇所以上調査実施 移動日は1箇所以上調査実施	移動日について1箇所以上、それ以外の日について午前及び午後それぞれ1箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区分	所見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	先進的な再生可能エネルギーの導入事例に加え、安定供給の体制整備について調査することは、本県の再生可能エネルギー施策の推進と、関連産業の振興を図り、県経済の発展と県民生活の安定につながるものであり、県政課題解決の一助となる。
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	本県では、平成26年4月に「かながわスマートエネルギー計画」を策定し、再生可能エネルギーの導入の促進を図っており、先進的な再生可能エネルギー導入事例を調査することは、今後取組を加速させていくうえで、時宜を得たものである。
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	今後の本県における再生可能エネルギー関連施策の取組に活かしていくためには、現地に赴き、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。